立花生徒会新聞「Trust通信」

ご入学おめでとうございます

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日から、中学校という新しい生活が始まりました。違う小学校だった友達や、初めて会う先生方、慣れない沢山のルールに不安を感じた人も少なくはないと思います。最初は誰でも、わからないことや戸惑うことがあるはずです。今はまだ、心配になったりするとは思いますが、徐々に環境にも慣れていけるので、自分に自信を持って、安心して学校生活を送ってください。

中学校の勉強は小学校の頃よりも難しい、というイメージを持っていませんか。自分はちゃんとついていけるのだろうか、と不安に思っていませんか。ですが、心配はいりません。最初のうちは、小学校でも習っていたことの応用や、あまり難しくない問題・内容からはじまり、わからなくなっても、その教科ごとの先生が優しく丁寧に教えて下さいます。授業を大切にして、家庭で予習や復習もし、きっちりと理解しておけば、これから先だんだん授業が難しくなってきてもついていくことができると思います。

挨拶の仕方や風紀など、小学校の頃とは違い、様々な規則があって、厳しいな、と感じたのではないでしょうか。しかし、このような規則や礼儀、身だしなみでその人の印象は大きく変わってきます。きちんと出来ている人からは、良い印象を受けられ、反対に乱れている人の印象は悪くなってしまいます。やはり、礼儀がなっていて周りから良いイメージを持たれたほうが良いと思いませんか。ですがこの様なことを、今までは意識していなくて、社会に出た時にいきなり始める、というのは大変難しいことです。なので、今のうちから身につけておき、自分自身の将来にとって役立つようにしておきましょう。

これから先、勉強や人間関係のトラブルなど、沢山悩んだり壁にぶつかることがあると思います。そんなときは、先生や友達など誰かに相談してみて下さい。そして、強い気持ちで挑めば、きっと乗り越えていけるはずです。充実した三年間を送れるよう、頑張って下さい。

立中の生活

今日から中学生になった皆さん。中学生になって、新しい生活を楽しみにしている人や不安に思っている人もいると思います。今回はその、立花中学校の生活についてお話をしたいと思います。

立花中学校では、毎朝正門で生徒会執行部が挨拶運動を行っています。挨拶をすることによって自分自身が清々しい気持ちになれるし、された方も気持ちいいからです。また、立花中学校の生徒は先生方だけでなく、学校に来られた来賓の方にも挨拶をします。挨拶というのは、知らない人に会った時に初めて交わす言葉です。ですので、挨拶はとても大切です。それは社会に出ても同じなので今の内に、一人一人が生活習慣の一環として挨拶を身につけられるよう、僕達は、毎朝、挨拶運動を行っています。また、立花中学校では、生活三原則「時を守り・場を清め・礼を正す」を一人一人がきちんと守った上で生活しています。風紀面では、一人一人が自分の身だしなみを意識しています。服装をきちんとする事によって、心身ともに引き締め毎日の生活を過ごします。

一時間目の授業が始まる前に、十分間ＴＯＴの時間があります。ＴＯＴとは、Ｔａｃｈｉｂａｎａ ｏｒｉｇｉｎａｌ Ｔｉｍｅの略で、読書をしています。この時間は、一人一人が集中して読書が出来るようにしましょう。

次に、休み時間については次の授業の準備をします。移動教室の場合には、授業に遅れないように時間を見て行動しましょう。四時間目が終わったら昼食なので、市職員室にお弁を取りに行きます。一時から十五分間の昼休みが始まります。運動場でボール貸出もしているので、ぜひ行ってみてください。また、午後の授業も頑張れるようにリラックスすることも大切です。六時間目の授業が終わったら、終礼学習と終礼があります。クラブがある人はクラブに行き、何もない人はそのまま下校します。下校するときも、家に帰るまで立花中学校の生徒としての自覚を持ちましょう。これで一日の中学校生活が終わります。

小学生の時とは生活が違いますが、頑張って下さい。

Trustの意味「信頼」お互いを信頼し助け合う

第4号　平成27年4月9日　木曜日
尼崎市立立花中学校
生徒会新聞

生徒会新聞について

一年生の皆さんご入学おめでとうございます。今、みなさんが読んでいるこの新聞は、生徒会執行部が記事や見出しを作って、月に一回発行しています。この新聞のタイトルの「Ｔｒｕｓｔ」も生徒会執行部で一年間全校生徒がどんな風に学校生活を送って欲しいか、いろいろな意見を出しあって決めました。この「Ｔｒｕｓｔ」には「信頼」という意味があり、生徒一人一人がお互いを信頼しあい、助け合って学校生活を過ごそう、という思いが込められています。これからいろいろな学校行事があるなかで全校生徒が信頼し合わないと学校行事は成功しません。学校行事が成功するためにも普段の学校生活からみんなに信頼されるようにきちんとした行動をとりましょう。そして全員が信頼し合ってより良い学校にしていけるようにこれから生活していきましょう。

新聞には、その月にある学校行事や、委員会の連絡などの記事を載せています。「新聞」というと難しい内容という印象が強いかもしれませんが、誰でも気軽に読めるような内容ばかりです。なので、友達がこの新聞を読んでいなかったら、読んでみるように勧めてみて下さい。そうすれば新聞の良さが分かり、普通の新聞も読んでみようという気持ちになると思います。普通の新聞を読むようになると、これから生活していくときに、日本で今、なにが起こっているかがわかるようになります。知識を頭に入れておくことで勉強になったりすることもあると思います。読書が好きな人も本を読むのと一緒に読んでみてください。

一年生の皆さん、これからの中学校生活では、大変なことや、わからないことも沢山あると思います。そんなときには、この新聞をぜひ読んでみてください。なにか悩みを解決する文があるかもしれません。新聞を読んで解決しなくても「Ｔｒｕｓｔ」信頼できる人間関係を築いていれば助け合えると思います。これからのこの一年間、どんなことがあっても信頼して、助け合いながら頑張って充実した学校生活を送りましょう。

図書室の利用について

二年生、三年生の皆さん図書室を利用していますか。あまり利用したことがないという人はぜひ利用してください。また、一年生もぜひ利用してください。図書室にはいろいろな種類の本がたくさん置いてあります。例えば、小説や勉強関連の本や歴史人物の伝記や外国の本などです。私のオススメは「フェリックスとゼルダ」という本です。この本は、主人公の少年フェリックスが孤児院を抜け出し両親を探しに行く話です。この物語の舞台は第二次世界大戦中のポーランドです。フェリックスはナチス占領下のつらい運命をその楽天的な想像力で乗り越えていくという感動の物語です。もし読んでみたいと思った人は外国の本のコーナーに置いてあるのでぜひ読んでみてください。

ところで、皆さんは家や学校などで読書をしていますか。しているという人はそれを続けてください。あまりしていないという人やまったく本を読まないという人はぜひ読書をしてみてください。小説などを読んだりすることで絵が無くても本の情景が頭の中で自然と浮かんできたり、想像することが出来るようになります。これが出来るようになると、国語の文章を読み取る力や想像力が身に付き勉強にも役立ちます。また、本に夢中になることで物語に引き込まれ時間を忘れることが出来ます。夢中になれる物は、いつか自分のためになるので、そういう物が一つもないという人は読書で夢中になってみてください。

そして、「立中の生活」でも紹介したように立花中学校にはＴＯＴがあります。この時間では、十分間読書をします。皆さんにはこの時間を有効に使ってもらいたいです。皆さんの中には「家では忙しい」という人もいると思いますが、この十分間だけでも夢中になって読書をしてみてください。また、ＴＯＴでは学級文庫の本も読むことが出来ます。学級文庫もいい本ばかりなので図書室の本ばかりを読むのではなく、学級文庫の本も読んでみてください。

編集後記

新学期が始まりました。新しい学年になり、一年生は、勉強や学校生活に戸惑うこともあるかもしれませんが、気持ちを引き締めて普段の生活を送りましょう。（井上・久保・辻本・藤田）